

月刊 いっぽ

vol. 42

2019年9月号

denken

いしてるコーナー（ICT）

新着情報

今月号は文部科学省が示す「幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領等の改訂のポイント」について紹介します。

概要について、ポイントを押さえておきましょう。

1. 今回の改訂の基本的な考え方

(1) 改訂の基本的な考え方

- ①これまでの学校教育の実績や蓄積を活かし、子供たちの資質や能力を確実に育成。その際、子供たちに求められる資質や能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視。
- ②現行学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、確かな学力を育成。
- ③道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成。

2. 知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」

(1) 「何ができるようになるか」を明確化

- ①子供たちの「生きる力」を育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義の下、全ての教科等を、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性」の三つの柱で再整理。

(2) 我が国の教育実践の蓄積に基づく授業改善

- ①これまでの教育実践の蓄積に基づく授業改善を活かし、子供たちの知識の理解の質の向上を図り、これからの時代に求められる資質や能力を育てていくことが重要。
- ②小・中学校においては、新しい指導方法を導入する必要はなく、これまでの教育実践の蓄積を若手教員にしっかり引継ぎつつ、授業を工夫・改善することが必要。

3. 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立

(1) カリキュラム・マネジメントの確立

- ①各学校において、教科などの目標や内容全体を見渡し、学習の基盤となる資質や能力、現代的な諸課題に対応して求められる資質や能力の育成のために、教科などの横断的な学習を充実する必要。また、「主体的・対話的で深い学び」の充実には単元など数コマの授業の中で工夫することが重要。
- ②学校全体として、教育内容や適切な時間配分、必要な人材・備品の確保、実施状況に基づく改善を通して学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントを確立。

4. 教育内容の主な改善事項

- (1) 言語能力の確実な育成
- (2) 理数教育の充実
- (3) 伝統や文化に関する教育の充実
- (4) 道徳教育の充実
- (5) 体験活動の充実
- (6) 外国語教育の充実
- (7) その他の重要事項
(幼稚園教育要領・初等中等教育の一貫した学びの充実・7・07「ミナリ」教育等)

※上記項目に対して教育内容・学習時間・設備・人材等改善をし、充実した学習を行う。

※詳細内容については下記「参考URL」をご参照ください。

参考URL

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/02/19/1384661_001.pdf

パソコンメーカーでUSB Type-Cの仕様が異なる

最近のパソコンにはUSB端子としてType-Cと呼ばれる規格のものが標準装備されはじめています。

一般的な仕様はUSB Power Delivery、Thunderbolt 3、DisplayPort Alternate Mode 対応です。

パソコンに装備されているUSB Type-Cが全ての仕様を満たしているとは限らないためパソコンを購入された後に、USB Type-Cに機器を接続しても利用出来ない場合もあるそうです。

パソコンメーカーにより仕様が異なるので、利用したい機器が使えるのか、パソコンを購入する前にカタログ等で確認する必要があります。

★今日の一言★

テレビのニュースで見ましたが、家電をコンセントに差すだけで、IoT機器として利用可能になる商品開発がされているそうです。

今までは、Wi-Fi機器経由であったものが、電力線を利用して通信を行うようになり、手軽に外出先から家電の情報や操作ができるようになりそうです。

ますます身近になるIoT機器、今後どのような商品が発売されて生活の役に立つのか楽しみです。

9

月

1

日

（日）

直

山

崎

憲

一